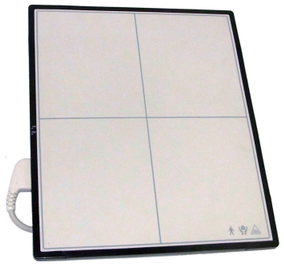
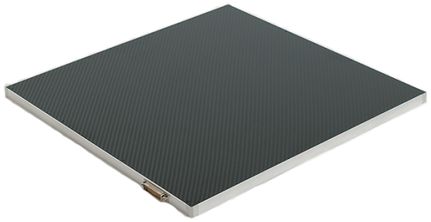
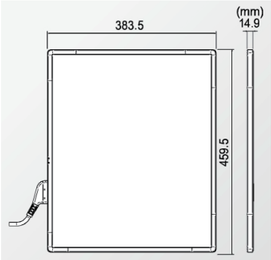
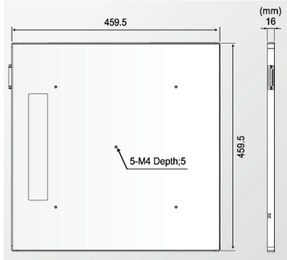
モデル	動物用診断用画像処理装置 DR ユージン









商品名	DR ユージン Quadcel FDXA3543RP システム	DR ユージン Quadcel FDXA4343R システム
コアテクノロジー	Quadcel テクノロジー	Quadcel テクノロジー
TFT	TFT アレイ／フォトダイオード（a-Si）	TFT アレイ／フォトダイオード（a-Si）
画像ピッチ	140μm	140μm
有効面積	350mm×430mm（14×17 インチ）	430mm×430mm（17×17 インチ）
有効解像度	2,466×3,040	3,040×3036
A/D 変換	16bit	16bit
サイクル	6 秒	6 秒
寸法・重さ	384mm×460mm×15mm 3.2kg	460mm×460mm×16mm 4.3kg
AED	使用可能	使用可能
医療機器届出番号	元動薬第 3347 号	元動薬第 3405 号

充実のメンテナンス、安心のサポート体制

万が一の時も、万全のサポートでバックアップ。
月々のサポートから、スポット対応までお客様のニーズに合わせてサポートをご提供いたします。

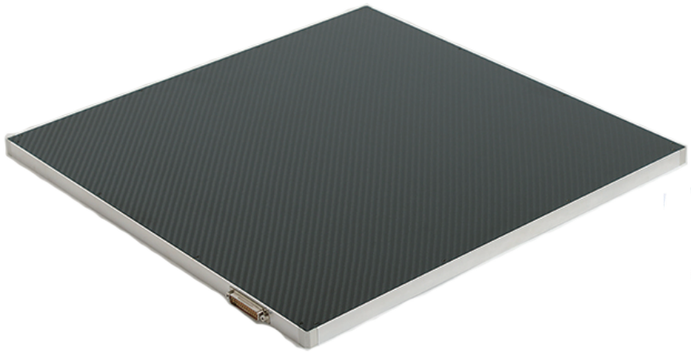
製造販売元
株式会社 ミカサ関東商会
埼玉県川口市東川口6丁目20番12号
TEL 048-294-2210 FAX 048-294-2326
URL：http://www.mikasa-ks.com
E-mail：mail@mikasa-ks.com

MIKASA KANTOU SYOUKAI

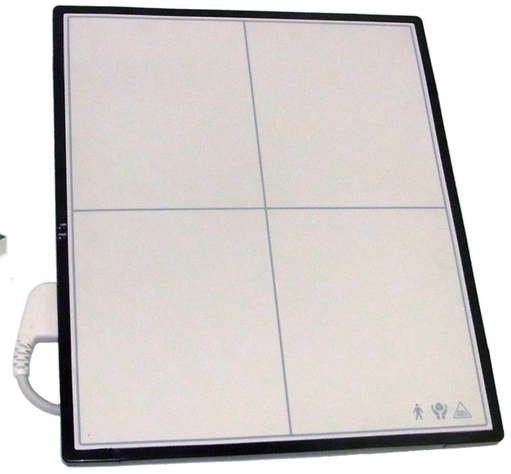
動物用診断用画像処理装置

DR ユージン Quadcel FDXA3543RP システム
DR ユージン Quadcel FDXA4343R システム

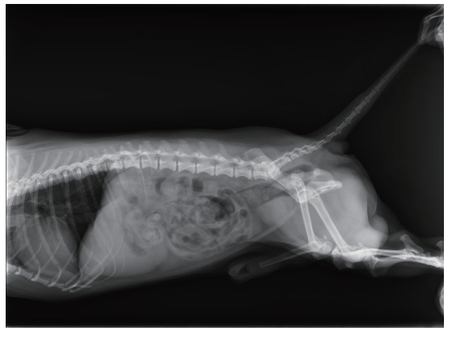
大切な家族を守る先進の **Quadcel** テクノロジー

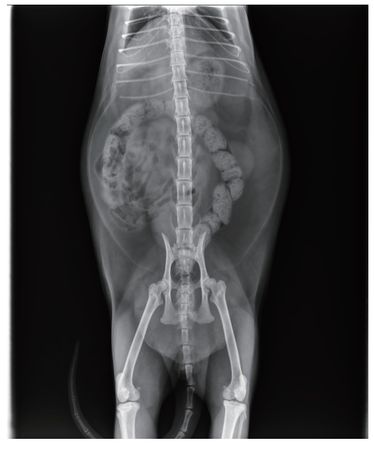


DR ユージン Quadcel FDXA4343R システム
元動薬第 3405 号



DR ユージン Quadcel FDXA3543RP システム
元動薬第 3347 号





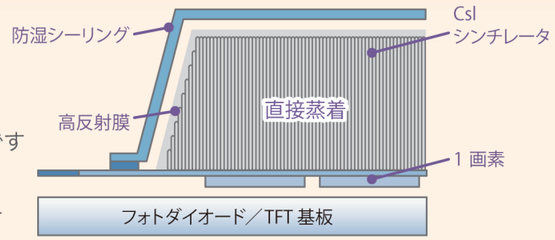
低線量撮影を可能にするメディカルソリューション

Quadcel

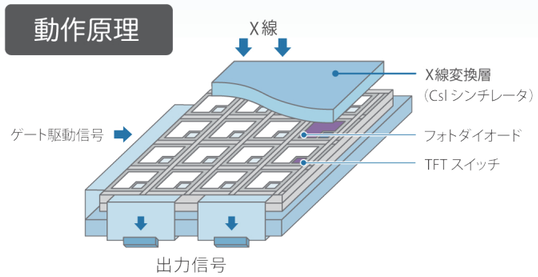
あなたの大切な家族を守る先進の*Quadcel*テクノロジー

Quadcel テクノロジー （コアテクノロジー）

このフラットパネルディテクタ(FPD)は
Quadcel テクノロジーによって
高感度・高解像度・低ノイズを実現しながら
患者さまへの放射線量を低く抑えることが可能です
当社の FPD はこれまでにない
高水準の機能性と信頼性で社会に貢献いたします



動作原理

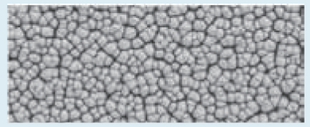


●CsI シンチレータによって、X 線が光に変換されます
この光はさらに、各画素内のフォトダイオードで
電気信号に変換されます。各電気信号が
薄膜トランジスタ（TFT）を経由することで読み出されます
電気信号増幅、A/D (アナログ / デジタル) 変換により
画像が生成されます

Quadcel は、FPD 製品の性能を高める 4 つのコアテクノロジーの総称です

独自の CsI：TI 技術

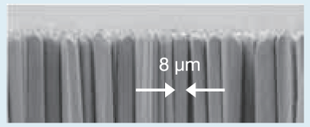
長い X 線イメージインテンシファイアの開発・製造の経験により培われた
先進 CsI：TI 技術 FPD 製造のために最適に管理されたプロセスによって生まれた
X 線シンチレーター細くて長い CsI 結晶により、感度 (DQE) を確保したまま解像度も
上げることが可能



構造（上部表面）

CsI：TI 直接蒸着技術

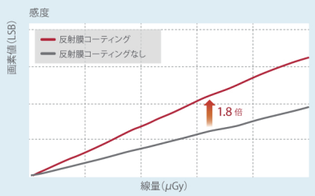
先進のプロセス管理によりフォトダイオード /TFT 基板に精細な
CsI：TI を直接蒸着、間接蒸着に比べて、解像度を上げることが可能



構造（上部断面）

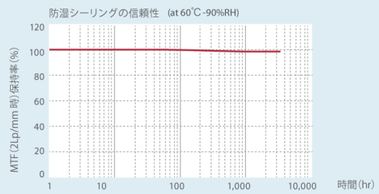
反射膜コーティング技術

反射膜なしと比較して、1.8 倍の高感度を得られます



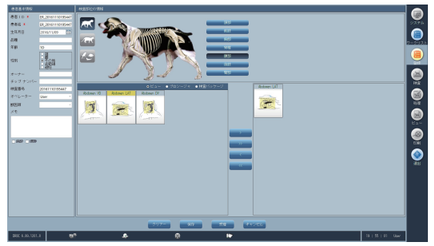
防湿シーリング

先進の防湿構造技術により、長寿命を実現、高性能を維持します



DR システム

患者情報・撮影条件入力 → レントゲン照射 → 撮影完了



Quadcel FDX システム

MAC（オザイリクス）

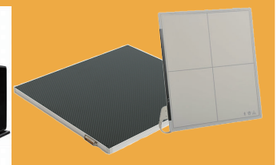
有線 LAN により DicomStrongViewer（DICOM ビューア）等と連携（Windows）
下記様々な DICOM ビューアの管理がしやすくなります。

MRI（フィリップス等）

CT（シーメンス等）

ミカサ ATOMSCOPE FK-1A

クライアント PC



DR ユージン

GE　超音波診断装置

ミカサ 内視鏡

ミカサ 硬性鏡

歯科用レントゲン

オリンパス顕微鏡

デジカメ　動物の歯の写真